

地域
まちづくり協議会
設立支援事業

地域コミュニティ活性化のヒント

～「参加してよかった」と思える地域のつくり方～



「住んで良かったと思える地域」、「住み続けたい地域」は、地域に住む皆さんの共通の願い。

この講演会では、市民社会パートナーズ代表の庄嶋孝広氏を講師にお招きし、地域が好きな人・地域に関わる人を増やすコツについて、参加者同士の交流を図りながら学び合います

お誘い合わせの上、ご参加ください。

連続講座
第1回

12/9 土 14時～16時30分
茂原市民体育館第1・第2会議室
茂原市高師2165

プログラム

講演「地域コミュニティ活性化のヒント」

対象

意見交換「それぞれの取り組みを知り合おう！」ほか
自治会、PTA、社会福祉協議会、長寿会、育成会、
民生委員、青少年相談員、消防団など、地域における
まちづくりに取り組んでいる方、関心をお持ちの方

定員

100名（先着順）

参加費

無料

申込締切

12月8日（金）

申込み・問合せ

茂原市役所生活課

TEL0475-20-1505・FAX20-1600

seikatu@city.mobara.chiba.jp

連続講座
次回予告

※本講座は3回連続講座ですが、
単発での受講も可能です。

第2回：1月13日（土）
地域コミュニティ活性化のための
事業アイデアを考えよう！
第3回：2月18日（日）
事業アイデアみんなでコンペ！

講師紹介



庄嶋 孝広氏

市民社会パートナーズ代表。地域コンサルタントとして、千葉県内では袖ヶ浦市協働のまちづくり推進条例市民検討会議ファシリテーター（H28.6～H29.6）などを手がける。

また、四街道市任期付職員（H19.4～H22.3）、東京都大田区非常勤特別職（地域力連携協働支援員）（H23.4～）などの地方公務員の兼業経験を持つ「民間と公務の二刀流」。

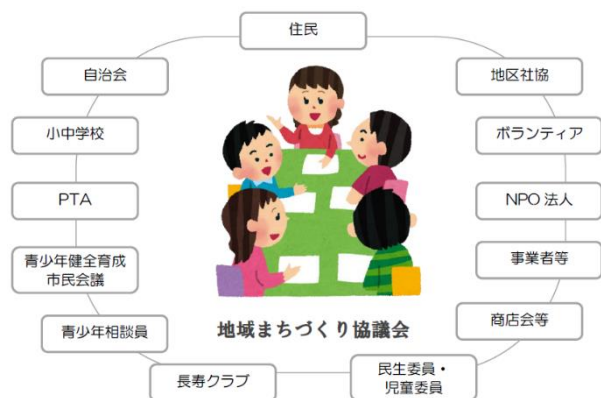
自らの地域では、おおた区民活動団体連絡会共同代表（H23.4～）、大田区立小学校PTA連絡協議会会長（H25年度）など、町会、PTA・おやじの会、青少年育成、NPOで地域活動を実践する「チク（地区）メン」。

地域まちづくり協議会とは

人口減少・少子高齢時代を迎える中、地域の皆さんが協力・連携し、地域の身近な課題や問題について話し合い、解決に向けて活動するための仕組みとして、「地域まちづくり協議会」を設置することができます（まちづくり条例第17条第1項）。

「地域まちづくり協議会」は、一定のまとまりのある範囲（小学校区程度を想定）において、地域の市民の皆さんや、自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、PTA、子ども会、長寿クラブ、ボランティア団体やNPO法人、事業者など、地域で活動するさまざまな主体が集まり、話し合いながら、自主的・主体的に設置されます。

地域まちづくり協議会では、地域のまちづくりの担い手である皆さんが、一つのテーブルに着き、相互の自主性や自立性を尊重しながら、協議を重ね、交流イベントや活性化事業など、地域の実情に応じた手法を用いて、身近な課題や問題の解決を目指します。



※上図に示した担い手等は一例であり、地域まちづくり協議会の構成員はそれぞれの地域によって異なります

平成28年度の開催実績

平成28年11月9日
 中の島連自治会（中の島自治会館）
 「地域コミュニティ活性化のヒント
 ～地域まちづくり協議会の意義」
 参加者約30名



平成29年1月30日
 五郷地区まちづくり協議会（五郷福祉センター）
 「地域コミュニティ活性化のヒント～“参加してよかった！”
 と思える地域のつくり方」 参加者44名

平成29年2月10日
 新治地区自治会長連合会（本納公民館）
 「まちづくり協議会の意義と事例」
 参加者約30名

